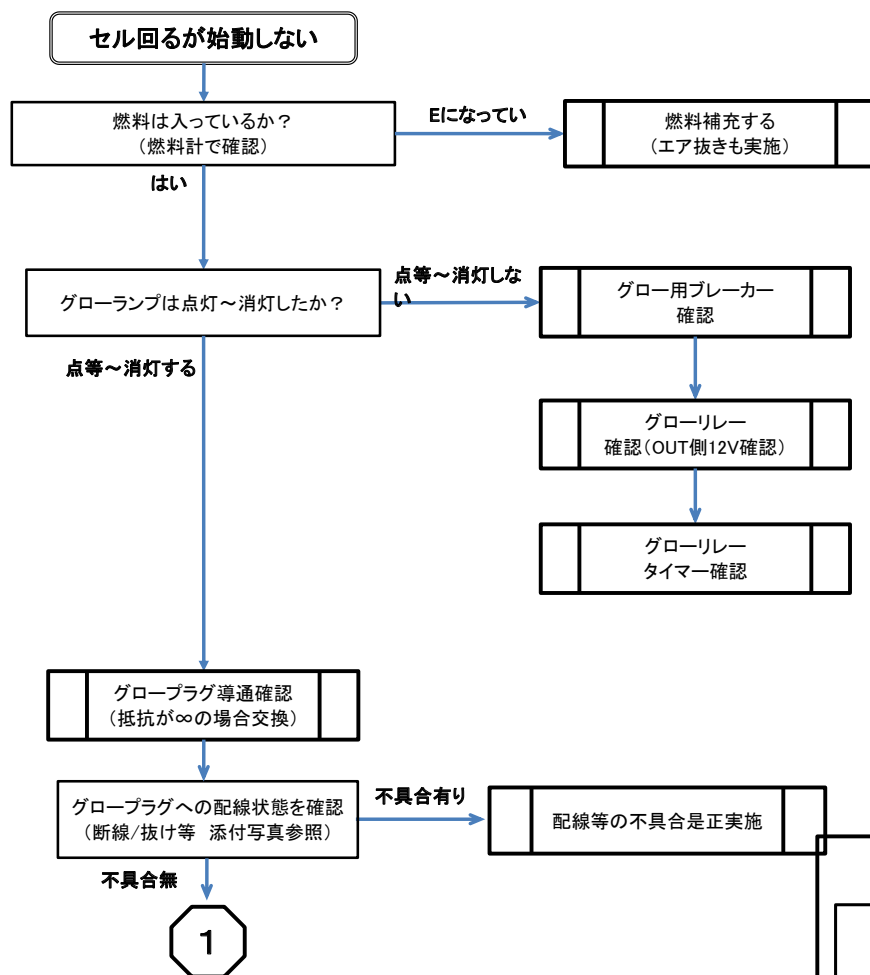
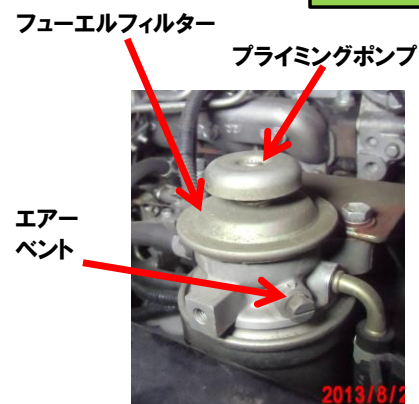


エンジン始動異常(セル回るが始動しない) 機種:11-23D

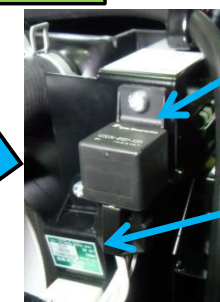


エア抜き方法(ダイハツ製エンジンの場合)



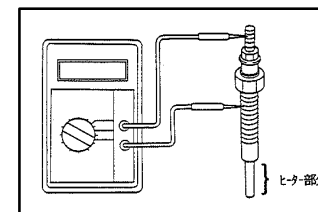
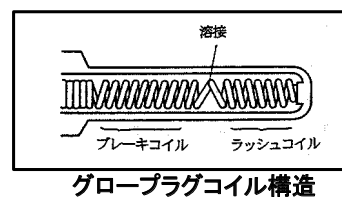
- ①エアイベントプラグを緩める
- ②エアイベントプラグから燃料が出るまでプライミングポンプを手で上下動作させ、フィルター内のエアを抜く。
- ③エアイベントプラグを確実に締める。
- ④エンジンを始動させエアイベントプラグから燃料が漏れない事を確認する。

リレーレイアウト



グローリレー
グローリレー
タイマー

グロープラグに関して



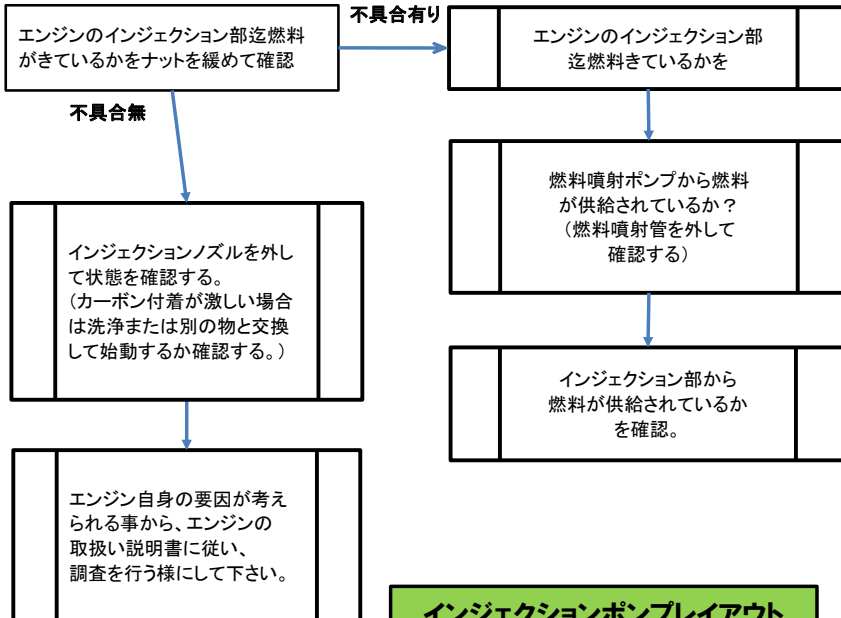
グロープラグは先端部が赤熱するラッシュコイルと温度を制御するためのブレーキコイルの2コイルから構成されています。このグロープラグの状態確認は左図の様にグロープラグの端子とハウジング間の抵抗を測定します。

参考抵抗値: 約0.1～5.0Ω

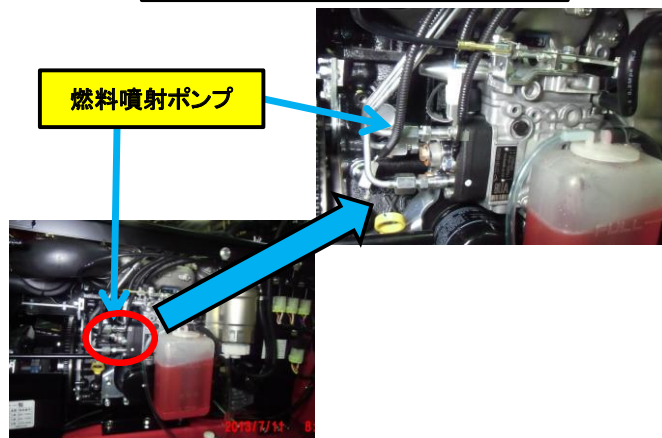
※①ヒーター部分が熱くなる可能性がある
ので火傷に注意する。

エンジン始動異常(セル回るが始動しない) 機種:11-23D

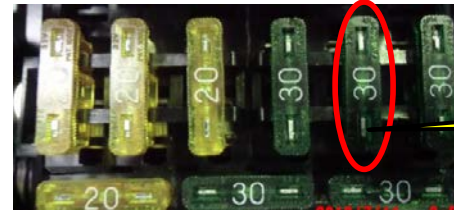
1



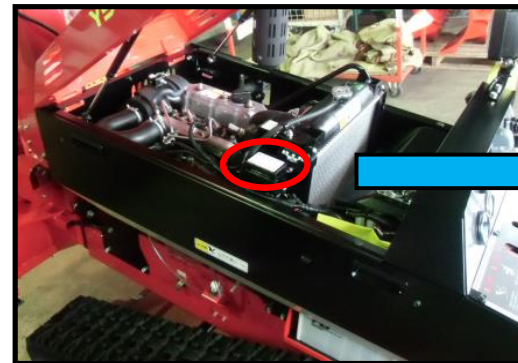
インジェクションポンプレイアウト



ヒューズホルダーレイアウト

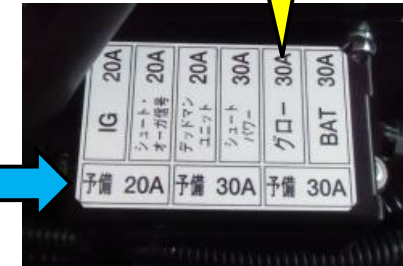


ヒューズ (カバーOPEN)



ヒューズBOXレイアウト

グローランプが不調の場合確認



ヒューズBOX

グローランプ/インジェクションレイアウト

インジェクションライン

インジェクション確認Point

- ①燃料が供給されているか？
(燃料吹き出し確認)
- ②各インジェクション接続部での燃料漏れ等がないか？
(外観確認)
- ③インジェクションノズルが閉塞していないか？

グローランプ

グローランプ部確認Point

- ①右図赤○部電圧供給ライン圧着端子部の確認
- ②各グローランプ部のナット締付け状態(緩み等)
- ③グループラグに電圧が正常に供給されているか
- ④グループラグの端子とエンジンボディー間の抵抗確認を行い、適度な抵抗がある事。

グローランプ用電圧供給ライン